

こころころころ

特集

外来診療の進化

2025年発行
vol.
73

診療部新任医師紹介

イベント案内 こころの医療センター しつっこ祭

イベント報告 こころの医療センター 夏まつり

開催報告 こころの県民公開講座

デイケアニュース



三重県立こころの
医療センターのビジョン

県民の皆さんより良いこころの健康をめざし、精神科疾患があっても
地域で安心して暮らせるよう、医療サービスを提供していきます。

初診外来予約枠を約1.5倍に増枠

うつや依存症などの症状に加えて、思春期の若者のさまざまな悩みや市販薬のオーバードーズ、高齢者の方の認知症状の悪化など、ここでの医療センターに受診に訪れる方のニーズは多様化しています。最近は若者と高齢者の方の受診者数が増加傾向にあります。

そうした変化に対応していくよう、令和7年4月から精神科初診予約枠を増枠しました。初診の診察に対応する医師の人数も増やして、従来の1.5倍近くの初診患者さんを受け入れられるようになります。



直接受診に訪れていただく方だけでなく、ここでの医療センターでは、地域の精神科クリニックや内科・整形など他の診療科を受診していく医師から紹介された患者さんの外来診療にも対応していきます。初診予約枠を増枠することで、そうした患者さんを受け入れる態勢もいつそう強化されました。

また、地域の精神科クリニック等からは、「今日中にどうしてもこの患者さんを診てほしい」という依頼を受けることもあり、入院や薬の処方などを必要とする方に早急に対応できる態勢も整えています。

初診に対応する医師の人数を確保

丁寧な診療を進めるなかで、初診外来での診療は予定していた時間をオーバーして続けざるを得ないケースもあります。初診外来に対応する医師の人数を増やしたり、初診外来用の診察室を柔軟に確保することで、他の患者さんの待ち時間を軽減することにも努めています。

「病病連携」の充実

地域連携ではクリニックや病院から紹介いただいた方が円滑に受診できるよう、関係機関への訪問や連携の強化に取り組んでいます。精神科病棟に加え、認知症やアルコール依存症の病棟を備えており、多様なニーズに対応可能です。

特にアルコール依存症は、ご本人が病気であることに気づきにくい場合が多く見られます。そのため、外来や病棟の看護師による電話相談や、家族向け支援プログラム「CRAFT」など、家族への支援も充実させています。

どうぞお気軽にご相談ください。



認定看護師によるサポート強化

令和7年4月から、外来の通院患者さんを精神科認定看護師がサポートする態勢を整えました。医師による診療に加えて、幅広い看護知識を有し、専門的な訓練を受けた認定看護師が定期的に患者さんと面談を行い、より深いアセスメントを通じて生活支援の助言などを行っています。退院された患者さんが外来を受診された際にも、認定看護師が面談するケースもあります。

また、認定看護師は断酒会や自助グループと密接な関係を築いており、アルコール依存症の患者さんの支援態勢の強化にもつながっています。



専門外来の取組

ここでの医療センターでは「アルコール」「ギャンブル等依存症」「もの忘れ」などの専門外来での診療に取り組んでいます。

ギャンブル等依存症の患者さん

に向けては、従来からテキストを中心とした「ギャンブル等依存症回復プログラム」を実施していますが、それに加えて令和7年4月から毎月1回、ミーティングを中心としたプログラムをスタート。参加者の方が自らの体験談を語り合ななどして、回復への道のりを歩んでいます。さらに、「アルコール」「ギャンブル等依存症」の予約枠を統合することで、より患者さんのニーズに柔軟に対応できる態勢を整備しました。

また、「もの忘れ外来」では、精神科・脳神経内科・脳神経外科などの専門各科と病院間で連携。専門医が認知症の初期診断・鑑別診断の検査(CT・認知機能検査等)や行動・心理症状(BPSD)に対する治療を行ながる、認知症疾患における早期診断、早期治療に取り組んでいます。



診療部の新しい医師です



山下 健

プロフィール

精神神経学会専門医・指導医
精神保健指定医
日本DPAT・DPATインストラクター

徳島大学医学部卒業。南部徳洲会病院での初期研修後、国立病院機構琉球病院、同樹原病院、大阪府立病院機構大阪精神医療センター、国立病院機構さがた医療センターを経て、令和7年9月1日から三重県立こころの医療センター勤務。

この度はご縁をいただき、令和7年9月より赴任しました医師の山下 健と申します。これまで新潟県にある、さいがた医療センターで精神科に勤務していました。慣れない環境で日々ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一人ひとりの患者さんのパーソナルリカバリーを目標に診療できるよう心掛けたいと思います。

イベント
案内

こころの医療センター しつとこ祭 を開催します

日時 2025年11月8日(土) 9時30分～15時30分

場所 三重県立こころの医療センター

※雨天決行(雨天の場合、外のイベントは中止になることがあります)

地域の中学校吹奏楽部による演奏や、迫力満点のよさこい・エイサーの演舞など、見どころいっぱいのステージ発表が行われます。そのほか、屋台グルメや無料のお楽しみ企画も多数ご用意しておりますので、みなさんお誘いあわせのうえぜひお越しください。

※詳細は後日、当院ホームページ等でお知らせします。

※写真は昨年の開催時のものです。



イベント報告 こころの医療センター

すこし早い

夏まつり 開催しました



2025年5月28日(水)、「三重県立こころの医療センター 夏まつり」を開催しました。

天候が心配されましたが、前日の雨も上がり晴天のもと、多くの入院患者さんに加え、外来患者さんも参加されました。

焼きうどんやみたらし団子、かき氷などの屋台の出店や、スタンプラリー、

カラオケ大会などが行われ、いずれも大盛況でみなさんに楽しんでいただくことが出来ました。

患者さんも夏まつりを心待ちにされており、たくさんの笑い声と笑顔溢れるイベントとなりました。今後も患者さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画していきたいと思います。



開催報告 令和7年度 こころの県民公開講座

テーマ: 心に傷を負った若者たちへの支援



14回目となる「こころの県民公開講座」では、トラウマ体験や過量服薬、リストカットなどの問題に直面する若者への対応事例や支援体制の構築について、医師・薬剤師・精神保健福祉士・看護師がそれぞれ現場の取り組みを交えて紹介しました。

開催日: 7月5日(土) 9:30～11:30
場 所: 三重県勤労者福祉会館 講堂
研修会参加人数: 113名

デイケアニュース

デイケアとは? ここに悩みを抱える方が、安定した日常生活を取り戻し、社会復帰を目指すための通所型リハビリテーション施設です。今回はコースの内容を紹介します。

精神一般コース



生活リズムの回復やコミュニケーションの練習を目的とした、さまざまなプログラムをご用意しています。グループでの活動を通じて、仲間とともに少しづつ自信を育みながら、安心して過ごせる時間を提供しています。

リカバリー(復職・就労支援)コース

復職や就労を希望される方を対象に、職場復帰に向けた支援プログラムを実施しています。再発の予防を図りながら、安定した復職を目指すためのサポートを行います。プログラムでは、考え方のクセを見直す認知行動的な取り組みや、職場での円滑なコミュニケーションを身につける練習も行います。



＼ 利用した皆さんのが 声を紹介します！ ／

- 病気との付き合い方を学べた
- 気持ちを分かってもらえる仲間に出会えた
- 働くための準備ができた！

他クリニック等を受診されていても当院のデイケアを利用することができます ※ご利用の際は当院でも受診が必要となります

外来担当医

※休診日／土・日曜・祝祭日及び年末年始
初診外来は、予約制です。ご予約先：初診外来予約専用電話 059-253-3120(9:00～13:00)

	診察室1	診察室2	診察室3	診察室4	診察室5	診察室6	診察室7	診察室10	診察室11	診察室12
月	初診	久納	山尾		楠本		坂本	山城	藤田	
火	初診	森川		芳野	中瀬	吉見	小畠	山下	AM 山尾(もの忘れ)	
水	初診	佐野	乾	楠本			小畠	山城		
木	初診	森川	乾	AM 外部医師	久納	金井	山本		角南	PM 中島
金	初診	AM 森川(もの忘れ)		芳野	永野	佐野	吉見	山下	(もの忘れ) 小川(脳神経内科)	

※令和7年10月1日現在

編集後記

今年の夏、野球好きな仲間と一緒に甲子園球場へ行き、高校野球を観戦してきました。開会式では球場に入った瞬間の景色、厳しい予選を勝ち抜いた選手達の堂々とした入場行進に感動し、試合では熱いプレーに興奮しました。試合以外にグラウンド整備を見るのも好きです。選手たちがベストな環境で安全にプレーが出来るよう丁寧に作業をされているスタッフの姿を見ると、看護においても環境と安全の提供は大切だなと感じます。

広報委員会／看護部 嶋田

アルコール依存症治療コース

再飲酒の予防や生活リズムの回復を目指すリハビリテーションの場です。同じ悩みを抱える仲間とともに、お酒のない生活リズムを整えながら、安心して過ごせる居場所を提供しています。「お酒のない暮らし」を無理なく続けられるよう、あなたのペースに寄り添ったサポートを行っています。



新設

ユーステラス

若者のための新しい居場所づくり

「自宅以外に通う場所がない」

「家族以外と交流がない」

「既存のデイケアは雰囲気が合わない」

——そんな声を受けて、私たちは若者だけが安心して過ごせる居場所をつくりました。無理なく通うことに慣れていく中で、精神一般コースへの参加につながった方や、アルバイトを始めた方もいます。少しづつ、生活の空間が広がっていく様子が見られています。



三重県立こころの医療センター

〒514-0818 三重県津市城山1丁目12-1

TEL 059-235-2125 FAX 059-235-2135

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROHP/HP/>

